

④スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	建物全体	住居・宿泊
		評価点	重み係数	評価点	重み係数		解説シートの採点結果	解説シートの採点結果
<b>Q 建築物の環境品質・性能</b>						<b>3.3</b>		
<b>Q-1 室内環境</b>			0.40			<b>3.1</b>		
<b>1 音環境</b>		<b>2.8</b>	0.16			<b>2.8</b>		
1.1 騒音		1.0	0.10					
1 暗騒音レベル		1.0	1.00	3.0			3.0	3.0
2 設備騒音対策		3.0		3.0			-	-
1.2 遮音		3.0	0.07					
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0			1.0	1.0
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0			1.0	1.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0		3.0			1.0	1.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0		3.0			1.0	1.0
1.3 吸音		3.0	0.83	3.0			1.0	1.0
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.3</b>	0.36			<b>3.3</b>		
2.1 室温制御		3.6	0.50					
1 室温設定	客先要求の室温条件の為	5.0	0.30	3.0			5.0	対象外
2 負荷変動・追従制御性		3.0		3.0			3.0	
3 外皮性能		3.0	0.20	3.0			3.0	対象外
4 ソーン別制御性		3.0	0.50	3.0			2.0	
5 温度・湿度制御		3.0		3.0			3.0	3.0
6 個別制御		3.0		3.0			3.0	3.0
7 時間外空調		3.0		3.0			3.0	
8 監視システム		3.0		3.0			3.0	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0			2.0	対象外
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0			3.0	対象外
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	0.22			<b>3.0</b>		
3.1 昼光利用		3.0	0.56					
1 昼光率		3.0		3.0			1.0	1.0
2 方位別開口		3.0		3.0			3.0	1.0
3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0			3.0	3.0
3.2 グレア対策								
1 照明器具のグレア		3.0		3.0			3.0	3.0
2 昼光制御		3.0		3.0			1.0	1.0
3.3 照度								
1 設計照度		3.0		3.0			1.0	1.0
2 照度均斉度		3.0		3.0			3.0	3.0
3.4 照明制御		3.0	0.44	3.0			3.0	1.0
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.0</b>	0.26			<b>3.0</b>		
4.1 発生源対策		3.0	0.50					
1 化学物質汚染		3.0	1.00	3.0			1.0	1.0
2 鉱物繊維対策		3.0		3.0			3.0	3.0
3 ダニ・カビ等		3.0		3.0			3.0	3.0
4 レジオネラ対策				3.0			3.0	3.0
4.2 換気		3.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.50	3.0			3.0	対象外
2 自然換気性能		3.0		3.0			1.0	1.0
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0			3.0	対象外
4 給気・排気ダクト計画		3.0		3.0			3.0	3.0
4.3 運用管理		3.0	0.20					
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50				3.0	
2 喫煙の制御		3.0	0.50				3.0	
<b>Q-2 サービス性能</b>			0.30			<b>3.8</b>		
<b>1 機能性</b>		<b>4.8</b>	0.40			<b>4.8</b>		
1.1 機能性・使いやすさ		5.0	0.60					
1 広さ・収納性		3.0		3.0			1.0	1.0
2 情報設備への建築・設備的対応		3.0		3.0			1.0	1.0
3 バリアフリー計画	事業主施設基準による	5.0	1.00	3.0			1.0	1.0
1.2 心理性・快適性		4.5	0.40					
1 広さ感・景観	事業主施設基準による	5.0	0.32	3.0			3.0	1.0
2 リフレッシュスペース		3.0	0.27	3.0			3.0	
3 内装計画	形状・色彩・材質とも配慮されたインテリアデザインとしてい	5.0	0.42	3.0			1.0	1.0
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.8</b>	0.31			<b>2.8</b>		
2.1 耐震・免震		3.0	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80				3.0	
2 免震・制振性能		3.0	0.20				3.0	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.7	0.33					
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.29				1.0	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12				1.0	
3 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29				3.0	
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29				3.0	
2.3 信頼性		2.2	0.19					
1 空調・換気設備		3.0	0.20				3.0	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20				3.0	
3 電気設備		1.0	0.20				3.0	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20				3.0	
5 通信・情報設備		1.0	0.20				1.0	

<b>3 対応性・更新性</b>			3.5	0.29	-	-	3.5
<b>3.1 空間のゆとり</b>			5.0	0.31	-	-	
1 階高のゆとり			5.0	0.54	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ			5.0	0.46	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			3.0	0.31	3.0	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			2.6	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性			1.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性			1.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース			3.0	0.22	-	-	
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>				0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		行政の景観会議・住民等との協議会により景観に配慮した計画としている	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	3.0
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	2.0
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							3.2
<b>LR-1 エネルギー</b>				0.40	-	-	3.4
1 建物の熱負荷抑制		外壁沿いへ非空調室を設け、熱負荷の抑制を図った	4.1	0.30	-	-	4.1
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	3.0
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化			3.0	0.30	-	-	3.0
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	3.0
4.2 運用管理体制		管理会社により具体的な数値目標を設定し運用する	4.0	0.50	-	-	4.0
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>				0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	4.0
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	3.0
1 雨水利用システム			3.0	0.67	-	-	3.0
2 雑排水利用システム			3.0	0.33	-	-	3.0
2 低環境負荷材			3.4	0.85	-	-	3.4
2.1 資源の再利用効率			3.7	0.35	-	-	4.0
1 躯体材料の再利用効率		鉄骨材は電炉製品を使用する	4.0	0.67	-	-	3.0
2 非構造材料の再利用効率			3.0	0.33	-	-	2.0
2.2 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.04	-	-	3.0
2.3 健康被害のおそれが少ない材料			3.0	0.08	-	-	3.0
2.4 既存建築躯体などの再利用			3.0	0.18	-	-	3.0
2.5 部材の再利用可能性		歩道用タイル、IRBの一部には再生製品を使用する	4.0	0.18	-	-	4.0
2.6 フロン・ハロンの回避			3.0	0.18	-	-	4.0
1 消火剤		ハロン消火設備を必要とするエリアがない為、使用していない	4.0	0.33	-	-	3.0
2 断熱材			3.0	0.33	-	-	2.0
3 冷媒			2.0	0.33	-	-	
<b>LR-3 敷地外環境</b>				0.30	-	-	2.9
1 大気汚染防止			3.0	0.15	-	-	2.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.5	0.15	-	-	3.0
2.1 騒音・振動			3.0	0.50	-	-	4.0
2.2 悪臭		保管庫は冷蔵庫とし悪臭の発生を防ぐ	4.0	0.50	-	-	2.0
3 風害、日照阻害の抑制			2.0	0.15	-	-	4.0
4 光害の抑制		外部照明・自動車のヘッドライト等が外部へ洩れないように	4.0	0.10	-	-	2.0
5 温熱環境悪化の改善			2.0	0.30	-	-	4.0
6 地域インフラへの負荷抑制		大店立地法により影響評価し負荷の低減を図った	4.0	0.15	-	-	2.0

5.0	1.0
1.0	1.0
2.0	2.0

3.0
3.0
3.0
3.0
3.0

2.0
4.0

3.0
2.0

3.2

4.1
-----

3.0
-----

4.0
-----

3.2
-----

3.0
-----

4.0
-----

3.4

3.0
-----

4.0
-----

3.0
-----

3.0
-----

4.0
-----

4.0
-----

3.0
-----

2.0
-----

3.0
-----

3.0
-----

4.0
-----

4.0
-----

3.0
-----

2.0
-----

3.0
-----

4.0
-----

2.0
-----

4.0
-----

4.0
-----

■ LR-1 用途別得点表	物販店		飲食店		集会所		面積按分 総合スコア
	63104	m <sup>2</sup>	7842	m <sup>2</sup>	8153	m <sup>2</sup>	
1 建物の熱負荷抑制	4.0		4.0		5.0		4.1
3 設備システムのERRIによる評価	4.0		データ未入力		データ未入力		3.2
高効率化							
3.1 空調設備	4.0		5.0		5.0		
3.2 換気設備	4.0		5.0		4.0		
3.3 照明設備	5.0		CEC/L値未入力		CEC/L値未入力		
3.4 給湯設備	-		-		-		
3.5 昇降機設備	-		-		-		